



我孫子市

Abiko city

令和4年2月15日
報道提供資料

震災を忘れない・伝えていく

刺繍画“レジリエンス”千手観音菩薩・我孫子の復興パネル展

東日本大震災から10年の節目に完成した刺繍画

東日本大震災が発生した3月11日への鎮魂の祈りをこめて制作した刺繍画の大作「“レジリエンス”千手観音菩薩」(124cm×106cm)を展示します。あわせて、震災の記憶を伝えるため、我孫子市の震災当時を振り返る「我孫子の復興パネル展」を実施します。

なお、「“レジリエンス”千手観音菩薩」は、展示期間後、3月11日に被災地である宮城県女川町で展示されます。また、今回一緒に展示される刺繍画「桜」は、フランス共和国のパリ市にある国連教育科学文化機関(UNESCO)本部で5月に展示されることが決まっております。展示期間後はパリへ送られます。

期間 令和4年2月16日(水)～2月27日(日)まで

時間 午前9時～午後9時(初日午後1時から、最終日は午後5時まで)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更になる場合があります。

場所 我孫子市生涯学習センターアビスタ(若松26-4) 1階中央通路

費用 無料

主催 一般社団法人 三月のひまわり

後援 我孫子市教育委員会

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会生涯学習部生涯学習課

担当：菊地、岩本、杉山

☎ 04-7182-0511

震災を忘れない 伝えていく

刺繍画 “レジリエンス” 千手観音菩薩

・ 我孫子の復興パネル 展

★東日本大震災から10年の節目に完成した刺繍画★

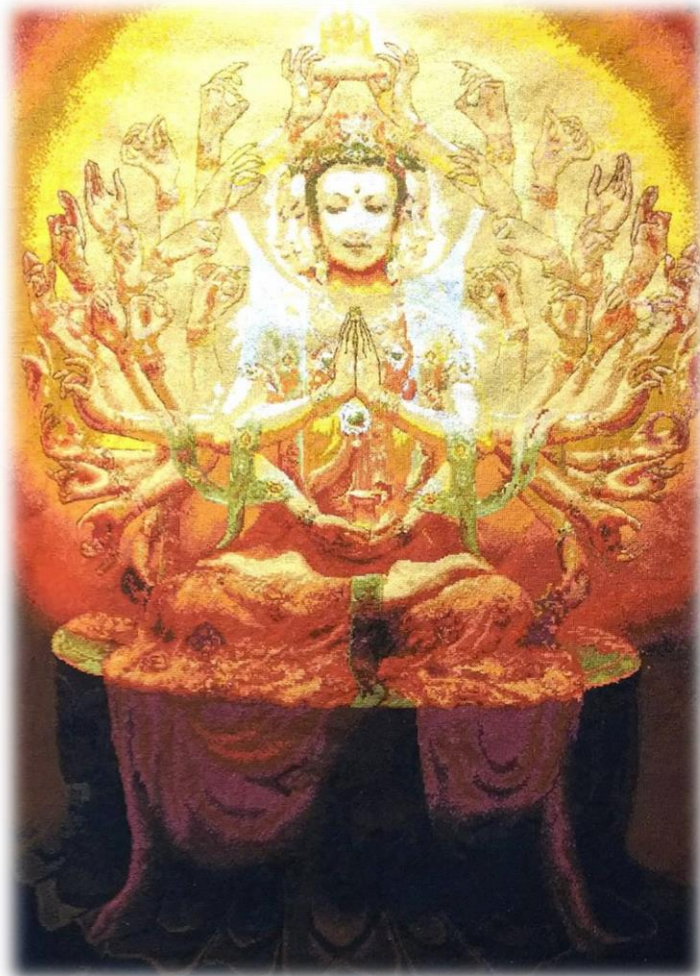
◆開催日：令和4年2月16日(水)～2月27日(日)
(初日は13時～、最終日は17時まで。)

◆会場：アビスタ1F中央通路壁面展示場
(千葉県我孫子市若松26-4)

主催：一般社団法人 三月のひまわり

後援：我孫子市教育委員会

我孫子市にて東日本大震災復興支援活動の一環として『いのちの絵本』朗読会などを行ってきた刺繍家・星野真弓の刺繍画を展示いたします。



「“レジリエンス”千手観音菩薩」は、我孫子市での展示の後、3月11日に被災地である宮城県女川町にて展示されます。また、今回、一緒に展示される刺繍画「桜」は、今回の展示の後、フランス共和国のパリ市にある国連教育科学文化機関(UNESCO)本部において、5月に展示されることが決まっております。我孫子市での展示の後、パリへと送られます。

東北で出会った大切な言葉『レジリエンス』。しなやかな強さ・回復力という意味があります。人はどんな困難なことがあっても、心の中に一筋の光さえ見出せたら強くなれるはず。作品が誰かの光になればと願い糸に想いを込めました。

千手観音菩薩・・・

「1本の手には囚われてはならない。
1000通りの思いやり、やさしさがある。
どこにも心を置かないことが、
どこにも心を置いていることになる。
『千手』は『不動心』ということを教えてくれている」



★星野真弓(ほしの まゆみ)
一般社団法人 三月のひまわり 代表
国際平和芸術協会 特別会員

刺しゅう家として全国で作品展を開催。ジュネーブ国連欧州本部にて日本代表団の一員として作品を展示し多くの反響をいただく。2012年より東日本大震災復興支援活動を開始。2015年ボランティア団体「三月のひまわり」を設立。防災イベント、いのちの授業などを全国で開催中。